

優秀賞

お台場学園港陽小・中学校

表彰理由

お台場学園港陽小・中学校では、自然を身近に感じる機会を創出し、児童・生徒が主体的に環境と関わることを促すため、「めぎせ自然生物サイクルお台場ビオトープ」をテーマにビオトープでの活動を展開しました。ヤゴの羽化の場所として活用するために投入した朽ちた桜の木やヤマモモの太枝が、水中生物のエサにもなっており、自然の生態系サイクルを確立することに成功しました。このように、人工的な仕組みではなく、極力自然に近いかたちで生物を育成することを徹底した点が高く評価できます。

3Rでは「水環境、水資源と生物生産資源を生かしていこう」をテーマにペットボトル及びプラスチックごみで作成したオブジェを用いた啓発活動や海苔の栽培、ペットボトルキャップの回収を行いました。お台場の海が近くにあるという学校の特性を生かし、海洋資源について深く考え、独自性のある体験学習を展開した点が高く評価できます。

特徴的な取組

■ お台場ビオトープの整備 (新規)

新たなビオトープを整備し、メダカやヤゴ、ゲンゴロウの育成をしました。朽ちた桜の木やヤマモモの太枝を天然の餌として活用することができており、人工的に餌を投与するのではなく、自然の生態系サイクルを生み出すことに成功しています。

■ 小・中学校一丸での3R活動 (発展・改善)

ウミガメが海洋投棄されたビニール袋をクラゲと誤認・誤食した事故からペットボトル及びプラスチックごみを活用して中学校生徒会が「クラゲ」に見立てたオブジェを作成し、展示しました。昇降口に展示することで中学校生徒だけでなく、小学校児童の環境に対する問題意識も育成にもつながりました。さらに、中学校発行の環境だよりを小学校にも配布することでペットボトルキャップの回収数が増加し、3000個ものキャップを回収することができました。

▼お台場ビオトープ



▼オブジェを活用した啓発活動

